

学校心理研修【2時間を基本とした講義セット】

※学校心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-4-1	マイノリティと多様性の理解 (172分)	マイノリティの文化と心理的支援 ーさまざまなマイノリティと多様性の理解ー	○	45分 38分	加賀美 常美代 (目白大学、教授) 熊谷 晋一郎 (東京大学、准教授)	4,400円
		文化間移動のころへの影響 ー外国につながる子どもの理解と支援ー	◎	68分	徳永 智子 (筑波大学、准教授)	
B-4-2	人間の発達と成長 (163分)	脳とこころの発達 ー脳科学の知見からー	◎	58分	黒田 公美 (東京工業大学 生命理工学院、教授)	4,400円
		人間のライフ・サイクルと心理社会的成長 ー愛着に焦点を当ててー	◎	78分 27分	遠藤 利彦 (東京大学、教授) 前半 遠藤 利彦 (東京大学、教授) 後半	
B-4-3	現場における多職種連携の実 際 (156分)	多職種連携・協働の理念 ー教育の現場から考えるー	◎	41分	石隈 利紀 (東京成徳大学、教授)	4,400円
		連携・協働に必要な実践力① ー教育の現場から考えるー 連携・協働するためのコミュニケーション・相互コンサルテーション	◎	55分	田村 節子 (東京成徳大学、教授)	
		連携・協働に必要な実践力② ー福祉、司法の現場から考えるー 情報共有するための事例の記録と報告	○	60分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長) 橋本 和明 (国際医療福祉大学、教授)	
B-4-4	様々な危機への対応 (128分)	危機への理解と支援	◎	58分	窪田 由紀 (九州産業大学、科研費特任研究員)	4,400円
		子ども(当事者)とのパートナーシップ ー災害被害を受けた子どもへの支援の事例からー	◎	32分	池田 美樹 (桜美林大学、准教授)	
		災害における危機対応 ー災害被災者支援の実際ー	◎	38分	大澤 智子 (兵庫県こころのケアセンター、上席研究主幹)	
B-4-5	他者を傷つけること ー暴力 について考えるー (131分)	暴力や加害の背景にあるもの	◎	56分	藤岡 淳子 (大阪大学、名誉教授)	4,400円
		虐待、DV、いじめ、ハラスメント ー弱者への暴力を考えるー	◎	75分	中村 正 (立命館大学、教授)	
B-4-6	日々の実践を考える (122分)	日々の実践を振り返る	◎	54分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長)	4,400円
		さまざまな分野における事実の取り扱い ー医療、福祉、教育、司法、産業 各分野の実践における見方・考え方ー	□	68分	神庭 重信 (九州大学、名誉教授) 黒木 俊秀 (九州大学、教授) 増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長) 石隈 利紀 (東京成徳大学、教授) 橋本 和明 (国際医療福祉大学、教授) 金井 篤子 (名古屋大学、教授)	
B-4-7	対人支援職として知っておき たい基礎知識 ー自傷、依存 症ー (146分)	自傷について	◎	61分	松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物 依存研究部長(兼任)薬物依存症センター、センター長)	4,400円
		依存症の理解と対応	◎	85分	松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物 依存研究部長(兼任)薬物依存症センター、センター長)	
B-4-8	こころの病とこころの健康を 考える① ー身体・こころ・ くすりー (137分)	身体とこころ ーこころを身体の間から捉えるー	○	82分	黒木 俊秀 (九州大学、教授) 熊野 宏昭 (早稲田大学、教授) 兼本 浩祐 (愛知医科大学、教授)	4,400円
		こころの病とこころの薬	◎	55分	黒木 俊秀 (九州大学、教授)	
B-4-9	こころの病とこころの健康を 考える② ー精神科医療にお ける診断ー (120分)	こころの病とこころの健康を考える ー精神科医療における診断ー	□	74分 46分	黒木 俊秀 (九州大学、教授) 山下 洋 (九州大学病院、特任准教授) 杉山 登志郎 (福井大学、客員教授)	4,400円
B-4-10	病気や障害のある子どもとそ の家族の理解と支援① (148分)	福祉領域における権利擁護と法制度 ー障害福祉分野における権利擁護と合理的配慮の考え方ー	◎	31分	丹野 傑史 (長野大学、教授)	4,400円
		多職種協働による支援と心理職の役割 ー障害児・者の支援における多職種協働の考え方ー	◎	30分	下山 真衣 (信州大学、准教授)	
		障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	◎	40分	田熊 立 (千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)	
		強度行動障害の理解と支援の実際	◎	47分	高橋 潔 (鉄道弘済会、理事)	
B-4-11	病気や障害のある子どもとそ の家族の理解と支援② (162分)	病気・障害とこころ	◎	45分	黒木 俊秀 (九州大学、教授)	4,400円
		重い病気の子ども：障害とこころ ー病気の子どもの心理支援ー	◎	69分	藤野 陽生 (大阪大学、准教授)	
		神経発達症・障害とこころ ー発達障害を理解するー	◎	48分	井上 雅彦 (鳥取大学、教授)	
B-4-12	医療現場における虐待対応と その後 (129分)	医療従事者の虐待対応とその後ーTICの視点から	○	85分 21分 23分	毎原 敏郎 (兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳 (武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀 (中村学園大学、教授)	4,400円
B-4-13	子どもの権利擁護と支援 (139分)	基本的人権の尊重と今日的課題	◎	60分	岩佐 嘉彦 (日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士)	4,400円
		人々の権利を守る社会制度の仕組み	△	48分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長) 高橋 温 (NPO法人子どもセンターてんぼ理事長、弁護士) 畑山 麗衣 (NPO法人Giving Tree、ピアカウンセラー)	
		福祉領域における権利擁護と法制度 ー児童福祉分野における権利擁護の考え方ー	◎	31分	高橋 温 (新横浜法律事務所、弁護士)	

学校心理研修【2時間を基本とした講義セット】

※学校心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-4-14	福祉分野における連携と心理職の役割 (121分)	多職種協働による支援と心理職の役割 —児童福祉分野における多職種連携—	◎	43分	薬師寺 真 (倉敷児童相談所、所長)	4,400円
		児童虐待対応の流れと心理職の役割	◎	45分	薬師寺 真 (倉敷児童相談所、所長)	
		子育て支援と心理職の役割	◎	33分	八木 安理子 (同志社大学、客員教授)	
B-4-15	子どもと家族 (164分)	家族 —我が国における家族の変遷—	◎	60分	神谷 哲司 (東北大学、教授)	4,400円
		生命と存在に関わる真実告知 —出自を知ること—	◎	49分	山田 勝美 (山梨県立大学、教授)	
		家族像とアイデンティティ —社会的養育における身近な大人の役割—	□	55分	神谷 哲司 (東北大学、教授) 松永 忠 (社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希 (社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	
B-4-16	生活を基盤とした育ちの支援 (165分)	生活の営みとところ —児童養護施設における暮らしを通して考える—	□	73分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長) 松永 忠 (社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希 (社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	4,400円
		司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味 —児童自立支援施設における支援と子どもの育ち—	△	64分 28分	富田 拓 (北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師) 村瀬 嘉代子 (日本心理研修センター顧問大正大学客員名誉教授)	
B-4-17	社会的養護における心理支援の実際 (131分)	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 1： 小学校年齢児	◎	70分	藤原 誠 (子どもの虹情報研修センター、研修課長)	4,400円
		社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 2： 思春期・青年期	◎	61分	増沢 高 (子どもの虹情報研修センター、研究部長)	
B-4-18	学校組織の理解を深める (123分)	教育の現状と動向	◎	38分	仲村 健二 (文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長)	4,400円
		学校組織とチーム学校の理解	○	42分 43分	山口 豊一 (聖徳大学、教授) 石川 悦子 (こども教育宝仙大学、教授)	
B-4-19	不登校、社会的ひきこもり、自殺 (自死) について (143分)	不登校と社会的ひきこもり	○	40分 46分	伊藤 美奈子 (奈良女子大学、教授) 齋藤 環 (筑波大学、教授)	4,400円
		自殺 (自死) について	◎	57分	新井 肇 (関西外国語大学、教授)	
B-4-20	教育現場における連携と心理職の役割 (165分)	子ども (当事者) とのパートナーシップ	○	40分 35分	水野 治久 (大阪教育大学、教授) 小栗 貴弘 (跡見学園女子大学、教授)	4,400円
		保護者、地域との連携	○	40分 50分	大河原 美以 (大河原美以心理療法研究室) 田村 節子 (東京成徳大学、教授)	
B-4-21	学校現場における心理職の役割を考える① (178分)	心理的支援の現場における実践的なアセスメント	○	105分	熊上 崇 (和光大学、教授) 橋本 忠行 (香川大学、教授)	4,400円
		子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	○	46分 27分	半田 一郎 (子育てカウンセリング リソースサポート) 小野 純平 (法政大学、教授)	
B-4-22	学校現場における心理教育的援助サービス (156分)	家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	○	37分 36分	水野 治久 (大阪教育大学、教授) 野田 正人 (立命館大学、特任教授)	4,400円
		子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	○	34分 49分	新井 雅 (跡見学園女子大学、教授) 大石 幸二 (立教大学、教授)	
B-4-23	学校現場における心理職のコンサルテーションの実際 (163分)	教職員へのコンサルテーション・コーディネーション	○	29分 44分 30分	谷島 弘仁 (文教大学、教授) 小野瀬 雅人 (聖徳大学、教授) 小林 朋子 (静岡大学、教授)	4,400円
		チーム学校へのコンサルテーション	○	30分 30分	家近 早苗 (東京福祉大学、教授) 西山 久子 (福岡教育大学、教授)	
B-4-24	学校現場における心理職の役割を考える② (136分)	教育の現状と動向	◎	35分	石隈 利紀 (東京成徳大学、特任教授)	4,400円
		教育分野における課題と心理職の役割 —学校における支援に必要な視点—	□	101分	石隈 利紀 (東京成徳大学、教授) 家近 早苗 (東京福祉大学、教授) 水野 治久 (大阪教育大学、教授) 半田 一郎 (子育てカウンセリング リソースサポート) 大石 幸二 (立教大学、教授)	
B-4-25	逸脱行動のある子どもへの多面的な理解 (146分)	暴力の世代間伝達	◎	58分	野坂 祐子 (大阪大学、教授)	4,400円
		逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達課題の理解 —ある事例をもとに—	○	88分	富田 拓 (北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子 (大阪大学、教授) 田中 康雄 (こころそだちのクリニックむすびめ、医師)	
B-4-26	職場におけるキャリアと心理的健康 (125分)	現代社会とキャリア —キャリア形成とその支援—	◎	64分	下村 英雄 (独立行政法人労働政策研究・研修機構職業構造・職業指導部門、副統括研究員)	4,400円
		社会集団・組織と心身健康	◎	61分	山口 裕幸 (九州大学、教授)	
B-4-27	職場における心理支援について考える (120分)	産業精神保健論	◎	60分	高野 知樹 (神田東クリニック、院長)	4,400円
		復職支援 (リワーク)	◎	60分	三宅 美樹 (トヨタ車体研究所)	